

4. 松本市内のR5年度TDM施策

4-1. 松本市内のR5年度TDM施策

4-1. 松本市内のR5年度TDM施策（1）概要

- 松本市では、朝の通勤時間帯におけるTDM施策を令和5年10月2日（月）～10月6日（金）の期間で実施した。
- 今年度は、昨年度より多くの企業に呼びかけを行い、更に、取組み重点日も設定し、実施した。

<TDM施策概要>

①実施時期	令和5年10月2日（月）～10月6日（金）[取組み強化日：10月6日(金)]
②対象・協力企業	松本市民、協力企業（18社）および松本市役所 ※昨年度は17社
③実施内容	自動車通勤をしている市民に時差出勤や混雑ピーク時間を避けて通勤することを要請し、平日朝の混雑ピーク時間の分散を図る。

◆松本市HP掲載文

松本市HP上でも
市民への協力の呼びかけ

◆掲載資料

ETC2.0データを活用し、
時間帯での所用時間の変化を
示して、時差出勤を促した

◆道路情報板

TDM実施期間中、道路利用者向けに松本市内の道路情報板（最大10か所※）において
時差出勤を促した
※当日の交通規制や工事実施等により変更

交通量の混雑ピーク分散について

松本市が令和3年6月に公表した混雑調査結果では、通勤時間帯に車が集まるのが渋滞の原因の一つとしており、この対策として、時差出勤やテレワークにより、通勤時間帯の混雑ピークを分散することが重要であると考えられています。

そこで、松本市では以下のとおり平日朝を対象とした以下の交通混雑分散に取り組んでいます。令和4年度の取組みにおいて、協力いただいた方からのアンケート結果では、本取組みに賛同をいただく意見が多く寄せられました。

自動車通勤をしている皆様、通勤時間を覚えて渋滞のイライラを解消してみませんか？朝の生活リズムを変えることは大変ですが、ご協力をお願いします。

1 目的

通勤時間帯の混雑ピークを分散し、平日朝の渋滞を緩和する。

2 取組概要

自動車通勤をしている市民の帰社に特産出荷や混雑ピーク時間を避けて通勤することをお願しい、平日朝の混雑ピーク分散の分散を図ります。

実施期間内及び期間外のデータ比較及び混雑帯への取組者のアンケート調査から、効果を検証します。

3 取組効果

以下の広報資料をご覧ください。

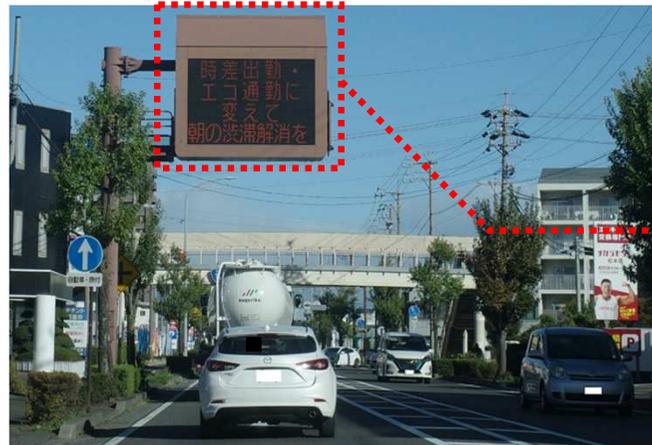
写真は、国道19号松本交差点付近の写真です。平日朝6時30分と7時30分での道路の状況は大きく異なることが分かります。

また、下段グラフより、時間帯によって所要時間が大きく異なることも分かります。

【例 下段グラフ右側】

国道19号新橋交差点を7時15分に通過すると、村井交差点までの所要時間は41分かかりますが、新橋交差点を6時45分に通過すると、村井交差点までの所要時間は25分であり、30分通過時間を早めると所要時間が16分も短縮します。

※グラフ内の所要時間は、全データのうち90%に位置する所要時間を示しています。必ず記載の所要時間で到着できる訳ではありません。

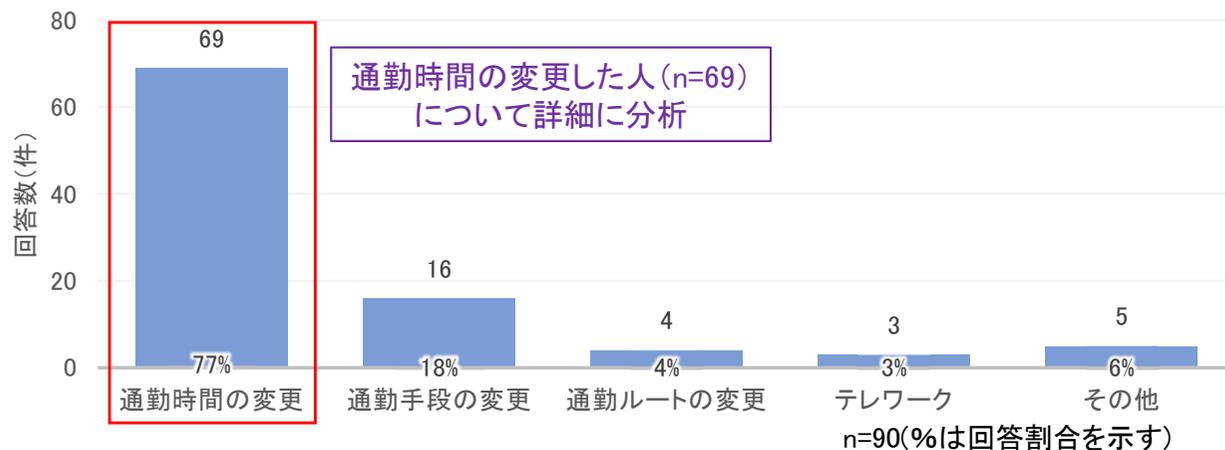


撮影：2023年10月6日（金）
【国道19号 松本市宮田5丁目】

4-1. 松本市内のR5年度TDM施策（2）アンケート結果（参加者）

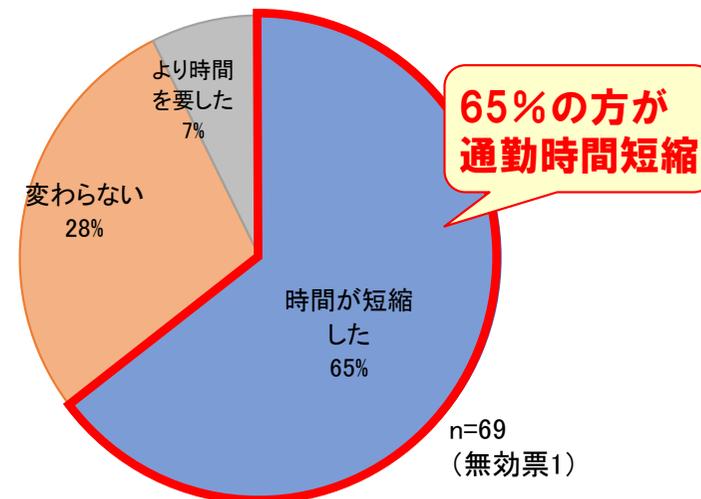
- 実施状況・効果を確認するために、TDM参加者にWEBアンケートを実施（参加者：n=90名、非参加者：n=146名）
- 今回の取組みでは「通勤時間の変更」を行った方が77%と最も多く、通勤手段の変更をした方も18%見られた。
- 普段は7:46～8:30に職場到着が多いが、取組み時は7:01～7:45の到着が多い。
- 取組みによる効果として、約65%の方が通勤時間が短縮したと回答。

○取組み内容(複数回答あり)



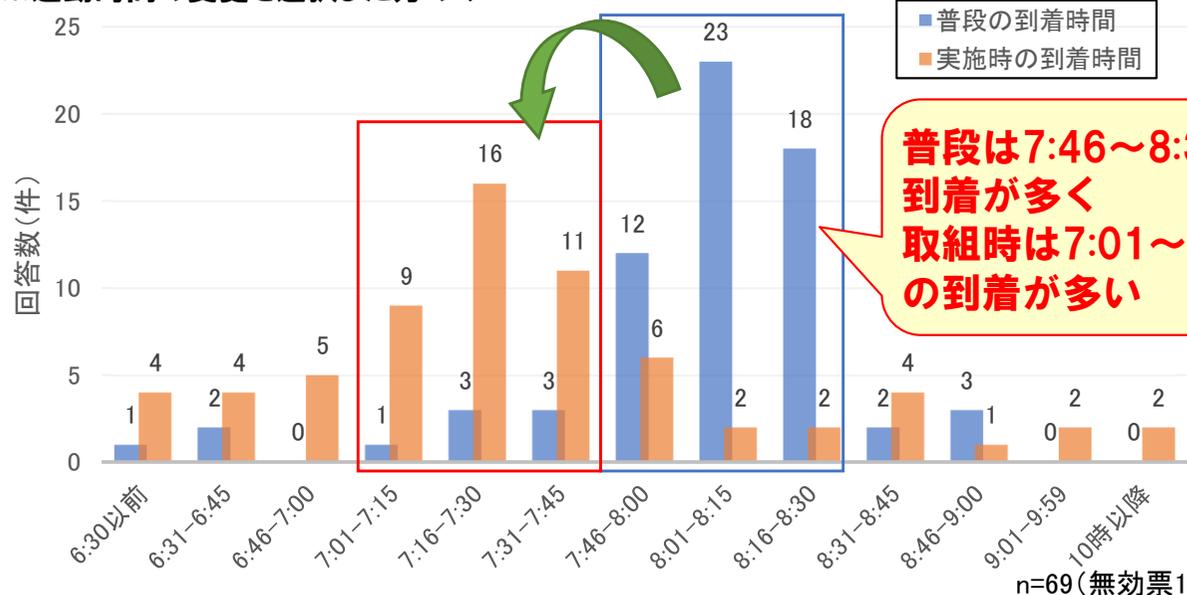
○取組みによる効果

※通勤時間の変更を選択した方のみ



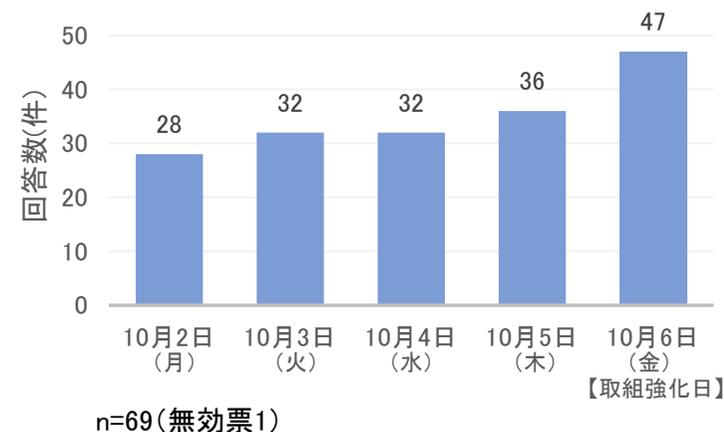
○取組み前後における職場到着時刻

※通勤時間の変更を選択した方のみ



○取組み実施日(複数回答あり)

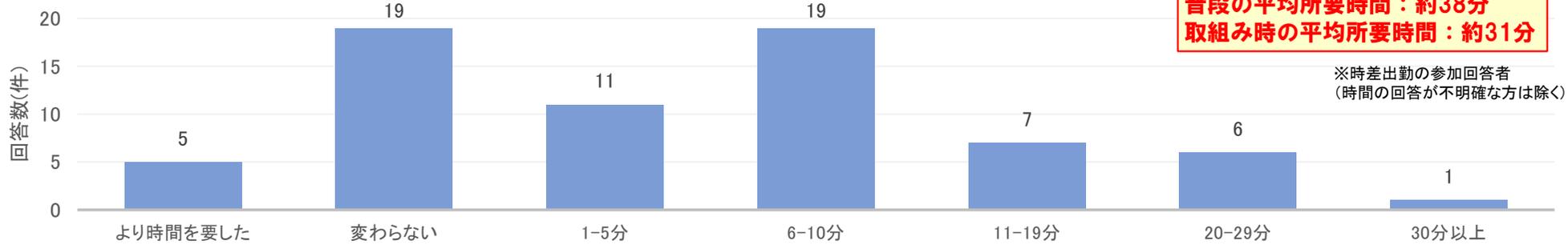
※通勤時間の変更を選択した方のみ



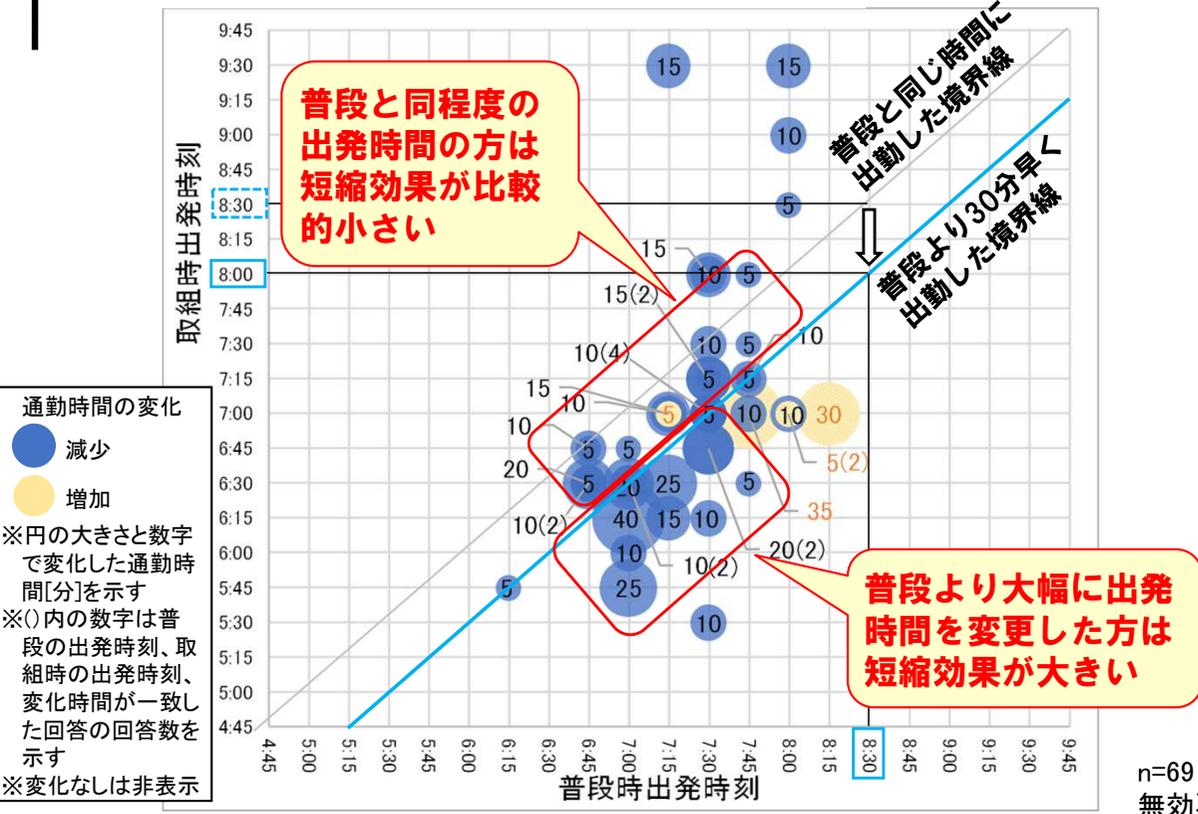
4-1. 松本市内のR5年度TDM施策（2）アンケート結果（参加者）

- 今回の取り組みで「通勤時間の短縮」を行った方の平均所要時間の短縮は約7分となっている。
- 通勤時間の短縮効果を確認すると、普段より大幅に時間帯を変更した方は短縮効果が大きい傾向がみられた。
- また、通勤時間が45分未満の方の割合は、普段約6割程度であるのに対して、取組時は約8割程度と2割程度増加した。

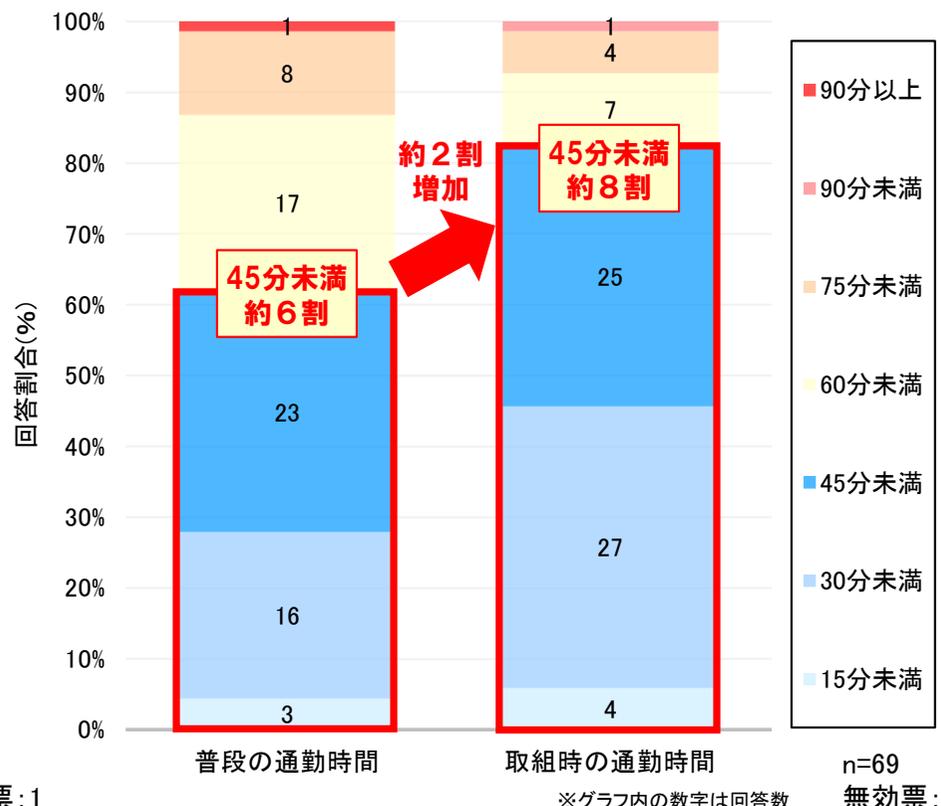
○取組みによる通勤時間の短縮時間 n=69無効票:1



○出発時間変更による通勤時間の短縮効果



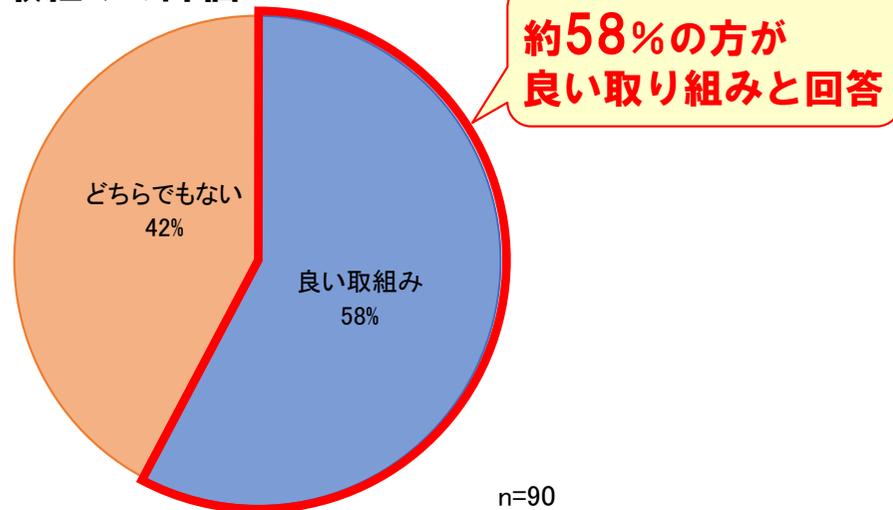
○通勤時間の変化状況



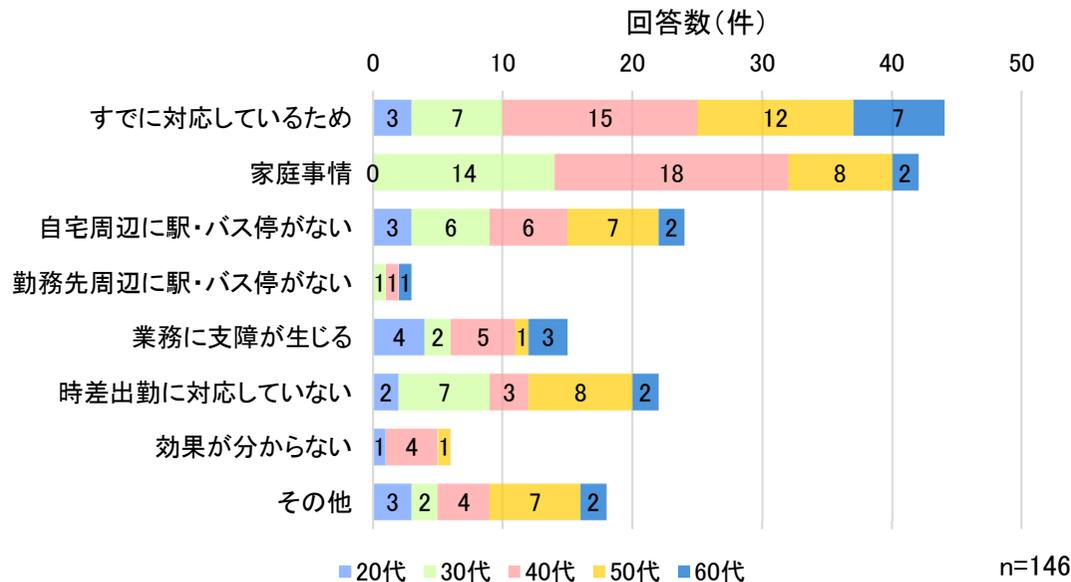
4-1. 松本市内のR5年度TDM施策（2）アンケート結果（参加者）

- 本取組みに対する評価では、約58%の方が「良い取組み」と回答。
- 取組みに協力できなかった理由として、家庭事情が多く、特に30代、40代の回答が多い。
- 本取組みの実施により、通勤時間が短縮したほか、生活面でメリハリができたなどの回答がある一方で、負荷が増えた意見もあった。

○本取組みの評価



○取組みに協力できなかった理由(複数回答あり)



○主な自由意見【良い取組み】

- 普段より通勤時間を45分早めたため、**松本駅前周辺および渚交差点通過がスムーズ**になり、**通勤時間が約半分**になった。
- **15分早めたのに、いつもより30分早く着いた**ので、効果はあると感じた。**道路が予想以上に空いていてビックリ**した。早く着いた時間に読書できたので、有効活用もできた。
- 通勤がスムーズになり**ストレスがなくなった**。
- **普段は職場付近(国道143号等)が渋滞**しているが、一番混雑する8時00分～8時20分頃を避けたところ渋滞していなくて**非常にスムーズで快適**だった。
- **公共交通機関を使うことで生活にメリハリ**(ダイヤを意識して動くなど)が出て、この取組みの良さを実感できました。またこまめに実施があってもいいと思います。

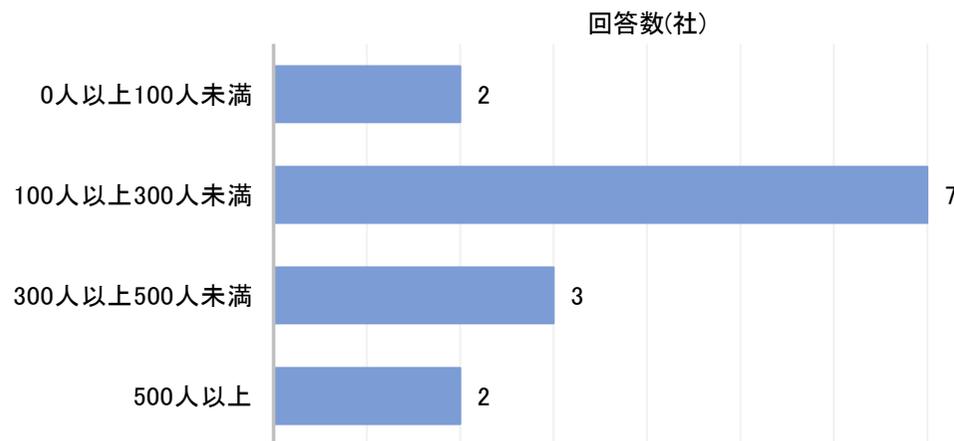
○主な自由意見【その他】

- 通常9時～16時勤務を30分時間を後ろへ変更したことで朝は少し余裕ができ、また少し渋滞も少なかったように思います。ただ帰りの時間が逆にかち合ったのか渋滞した日がありました。
- 通勤時間は短くなったが、主婦にとって朝の時間は貴重です、毎日の実施は難しい。
- 仕事の都合で直行可能な職種なので、取組できたが企業側の仕事や就業時間の整備が重要だと思う。

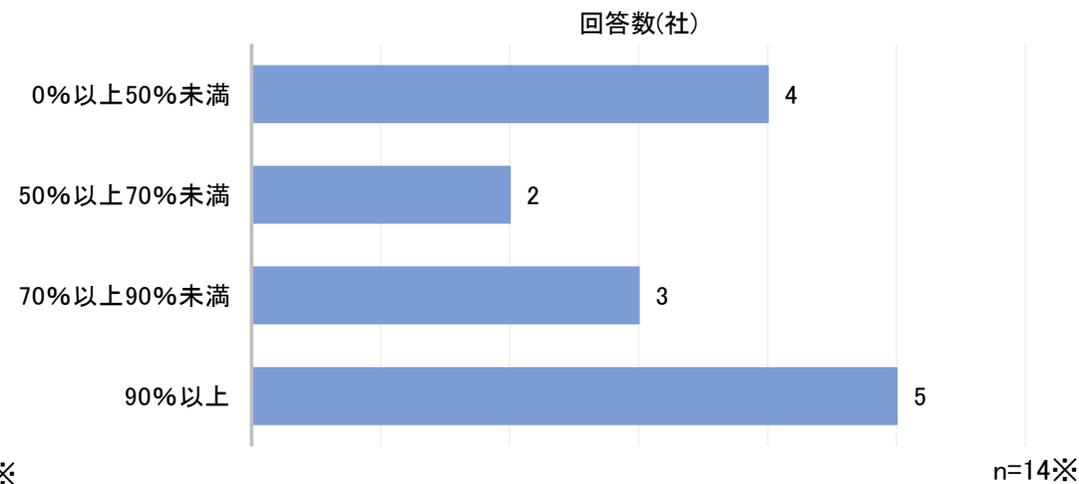
4-1. 松本市内のR5年度TDM施策（2）アンケート結果（参加企業）

- TDM参加企業の規模や制度を確認するために、WEBアンケートを実施。
- 参加企業の規模は100～300人の企業が多く、自動車通勤者割合は90%以上の企業が多い。
- 参加企業では、時差出勤やテレワークが制度として導入され、本取組みは「社内メールで周知」が多い。

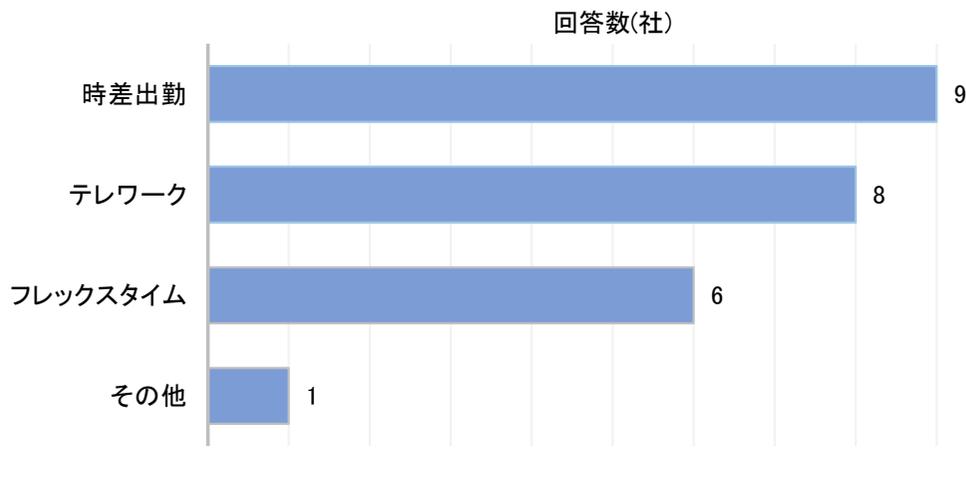
○参加企業の規模



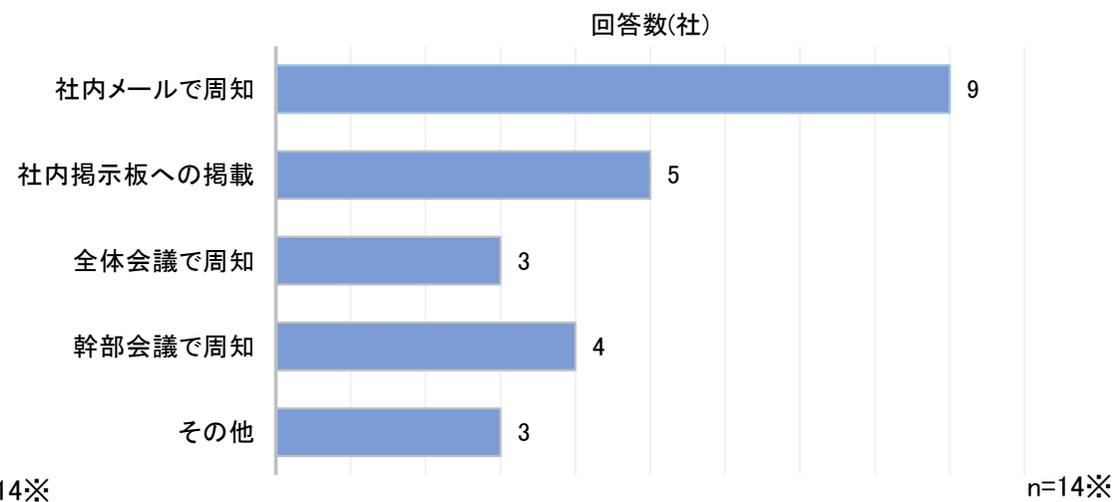
○参加企業の自動車通勤者の割合



○企業で導入している制度(複数回答あり)



○TDMの取組みに関する周知方法(複数回答あり)



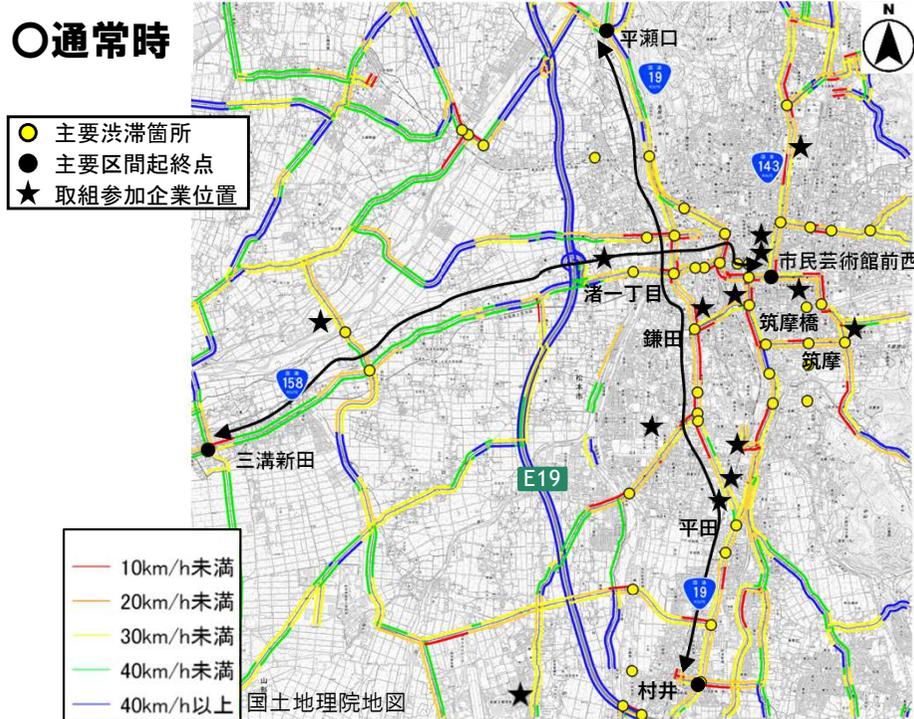
※今年度参加企業(18社)のうち4社はグループ企業として回答しているため、票数が14票となっている

4-1. 松本市内のR5年度TDM施策（3）ETC2.0分析

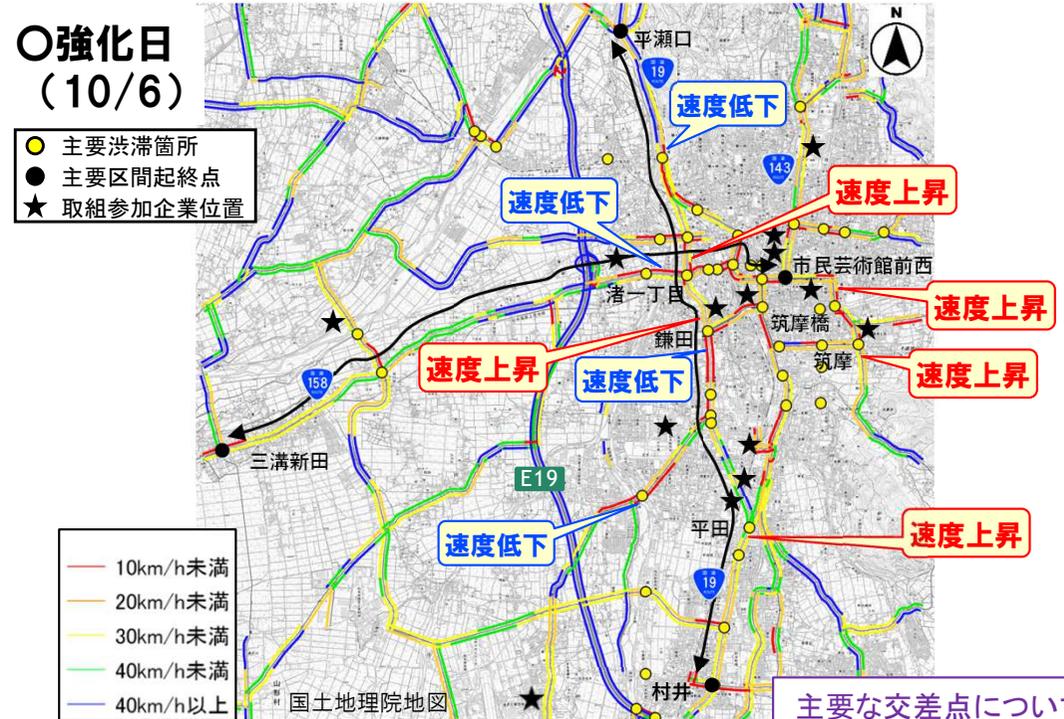
- 取り組み強化日（10/6）での一番取組実施者が多かった8：00～8：30の時間帯における速度状況を9月平日平均と比較。
- TDM参加企業付近にある渚一丁目、鎌田、平田、筑摩、筑摩橋交差点付近の区間では旅行速度の上昇がみられる。なお、一部区間では旅行速度が低下している箇所もみられる。
- 南北方向の主要区間（R19）では通常時に比べ、取組強化日(10/6)の旅行速度が向上。

◆速度ランク図(8:00-8:30)

○通常時



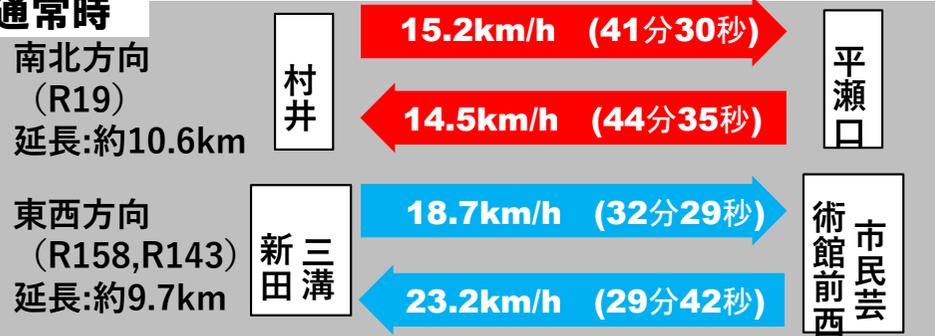
○強化日(10/6)



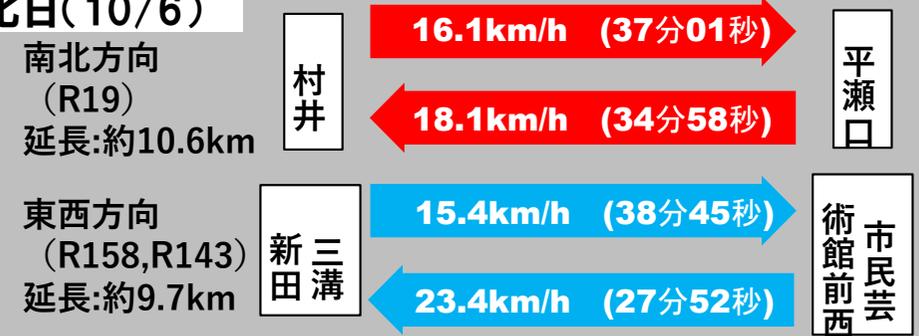
主要な交差点について
次頁で詳細に分析

◆対象期間の違いによる主要区間の旅行速度、所要時間(8:00-8:30)

○通常時



○強化日(10/6)

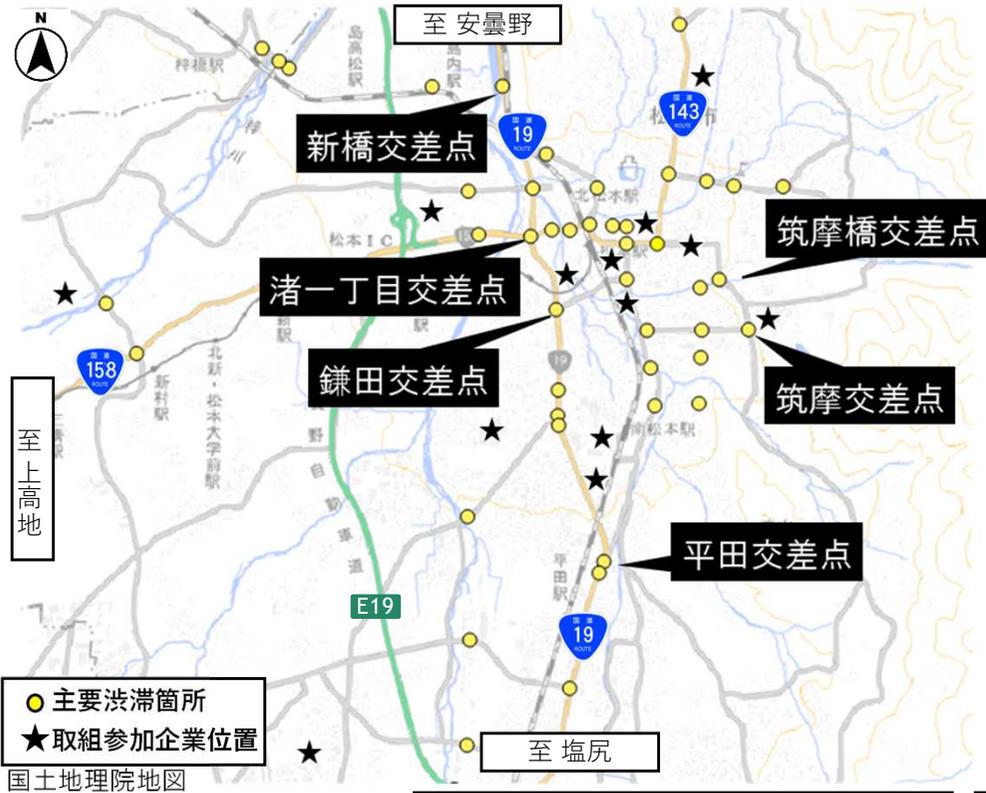


出典:ETC2.0データ(様式2-2) 通常時:9月平日平均、強化日:2023.10.6(金)

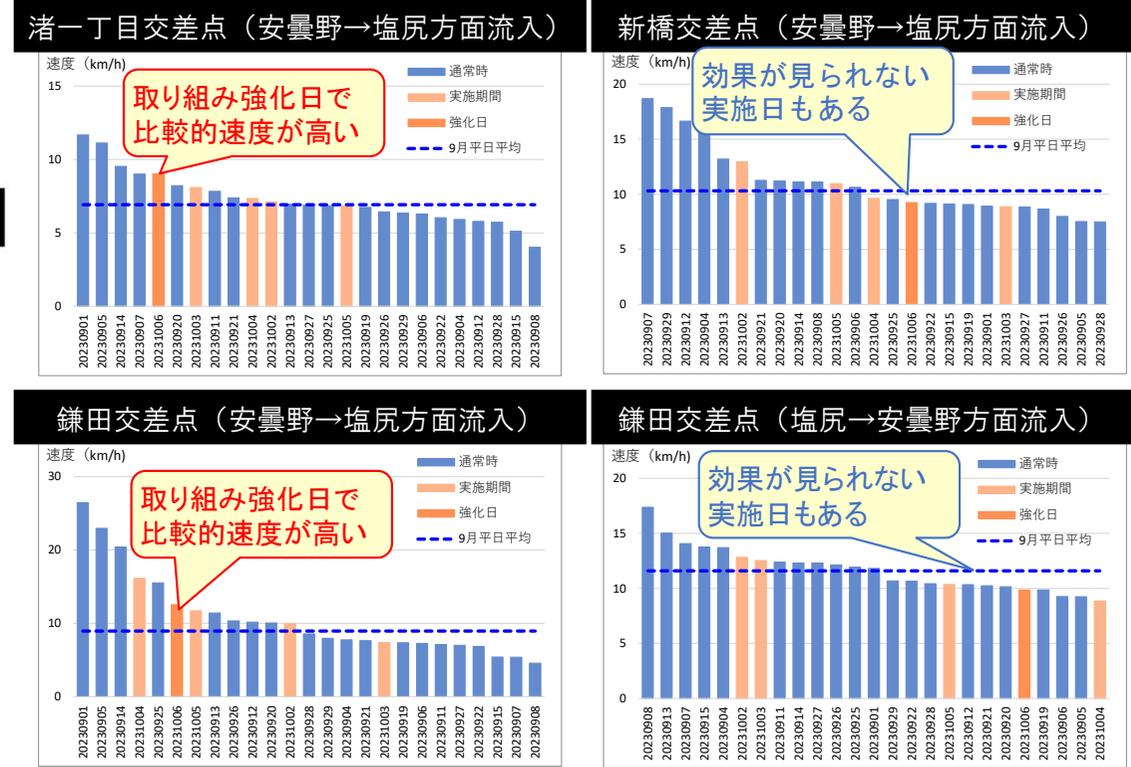
4-1. 松本市内のR5年度TDM施策（3）ETC2.0分析

- 前ページで速度変化が見られた主要渋滞箇所の中で通勤経路と想定される主要な交差点やTDM参加企業付近の交差点において旅行速度を詳細に分析。
- TDM実施期間中の速度状況はバラつきがみられるが、多くの交差点で9月の平日と比較して上位に位置しており、特に取組み強化日の旅行速度は通常時より比較的高めである。一部、TDM実施の効果が発現していない交差点も見られる。

◆主要渋滞箇所と取組参加企業



○通勤経路上の主要な交差点の旅行速度 (8:00-8:30)



出典:ETC2.0データ(様式2-2)
 通常時:2023.9月平日
 実施期間:2023.10.02(月)
 ~10.6(金)
 強化日:2023.10.6(金)

4-1. 松本市内のR5年度TDM施策（4） その他TDMの取り組み

- 松本市では市内7か所にパークアンドライド駐車場を設置。
- J R 平田駅に隣接する市営パークアンドライド駐車場では、令和5年8月に収容台数を142台から175台に拡張。
- キャッシュレス決済対応や空き台数を即時に市のホームページで公開するなど、利用促進策を実施。

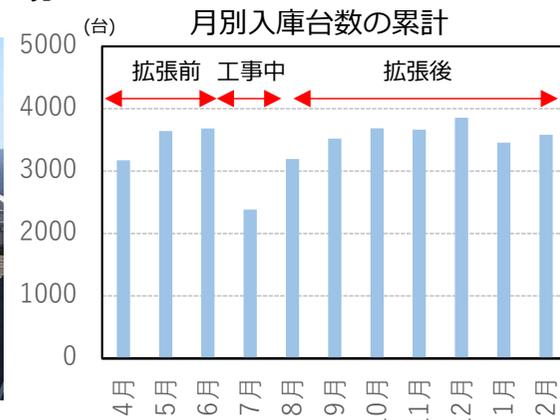
◆松本市のパークアンドライド駐車場



◆平田駅パークアンドライド駐車場



**R5.8に駐車マスを
142台⇒175台に拡張**



出典：松本市提供

	名称	台数	料金	利用時間
1	新村駅パークアンドライド駐車場	44台	無料	365日 24時間 利用可能
2	平田駅パークアンドライド駐車場	175台	200円※	
3	新島々駅パークアンドライド駐車場	10台	無料	
4	梓川支所パークアンドライド駐車場	8台	無料	
5	四賀支所パークアンドライド駐車場	20台	無料	
6	七嵐パークアンドライド駐車場	8台	無料	
7	大庭駅パークアンドライド駐車場	51台	200円※	

※24時間以内ごと

平田駅パークアンドライド駐車場

更新日：2023年12月4日更新
印刷ページ表示

- 現在の満空情報及び空き台数情報
- 【令和5年12月1日から】平田駅パークアンドライド駐車場がインボイス対応になりました
- 平田駅パークアンドライド駐車場をご利用ください
- アンケート結果について

現在の満空情報及び空き台数情報

現在の満空情報

空

車

現在の空き台数

64 台

※ 駐車台数175台の内の空き台数です。

**松本市HP上で
空き台数を
情報提供**

出典：松本市HP

4-1. 松本市内のR5年度TDM施策（5）総括

【令和5年度の実施結果】

- 参加企業を増やし、TDM施策(R5.10.2～10.6)を実施。取り組み集中実施日も設定
- 参加者にアンケート調査を実施
 - ⇒参加者は通勤時間の短縮が見られ、特に普段より早い時間に移動した人の短縮効果が大い
 - ⇒取組みに対しても肯定的な回答が多い
 - ⇒時差出勤などの制度を導入し、従業員の取り組みを支援している企業も確認された
- 交通データ（ETC2.0データ）による分析
 - ⇒TDM施策実施中に、参加企業の周辺の交差点では旅行速度の向上が見られた
 - ⇒効果は限定的な部分もあるため、参加企業を増加してより効果の発現を図る必要がある

【今後の課題】

- 1) 引き続き参加企業（人数）を増やす
（松本市全体としての効果を出すためにはより多くの参加者が必要）
- 2) 時間シフトだけでなく、P&Rなどの交通手段変更などのTDM施策促進方法の検討
（広報によりP&Rの利用促進を図る）
（公共交通事業者との連携により、交通転換を図る）等